

北陸農政局長賞受賞

○小菅沼・ヤギの杜^{こすがぬま}（富山県魚津市）^{もり}

小菅沼地区は、棚田に稲がなびき、さわやかな風が吹く自然豊かな中山間地域であるが、住民の減少と高齢化の進展により、農地の維持管理が難しくなり、野生動物による農作物被害が多発していることも重なり生産意欲が低下していた。このため、平成19年に鳥獣被害対策としてヤギ3匹を飼育したところ、荒廃した田畑の雑草を食べることから耕作放棄地の解消にもつながり、翌年には「小菅沼・ヤギの杜」を結成し、中山間地域の環境保全に向けた取組を始めた。

その後、耕作放棄されていた棚田を修復し、遊歩道の整備、農道への植栽等を行ったところ、ヤギとの触れ合いを求めて来訪者が増加したことにより、多目的利用公園「ポケットパーク」を造成し、地区の環境整備を進めてきた。

現在、耕作放棄田を借り受けて稲作アート田としてヤギの図柄などを表し、ここでは古代米の栽培を行い、市街地の小学校の農業学習の場として交流を深めている。また、集落では平成25年に農産物加工施設を新設し、傾斜地の特性を活かした米は「棚田米」としてブランド化を行い、地域で生産される農産物は、ジャムや漬物の加工品として6次産業化にも動き出しており、農家所得の安定・確保に効果を上げている。

また、都市部との交流として、東京の商店街には豊かな自然を体験できる場を提供しており、さらに来訪者の受入態勢を整え、食体験ができるメニューを考案し、都市部への農産物販売など積極的なPR活動を進めているなど、交流人口の拡大に寄与している。



ヤギ下草刈り



都市住民との交流



稲作アート田



フラワーロードの整備



かぐら南蛮の生産